

『アルプラス』バリアフリーサッシ キックハンドル 組立取付説明書

説明書番号 MN-1466
表

■ 本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
 注意	取り扱いを誤ると、使用者が障害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
 お願い	「必ず行なっていたく事」を示しています。

 注意 突合框には取付けできません。

■ 本製品の明細は以下の通りです。

キックハンドル本体、ビスカバー、台座 Spacer、引手 Spacer、台座 Bracket、本体取付ビスセット、障子 Stopper セット、ストライク、ストライクベース、ストライク取付ビスセット

■ 用意する工具

メジャー、ノギス、ドリル(φ3.5、φ4.5、φ8、φ10)

■ キックハンドル取付け位置の確認

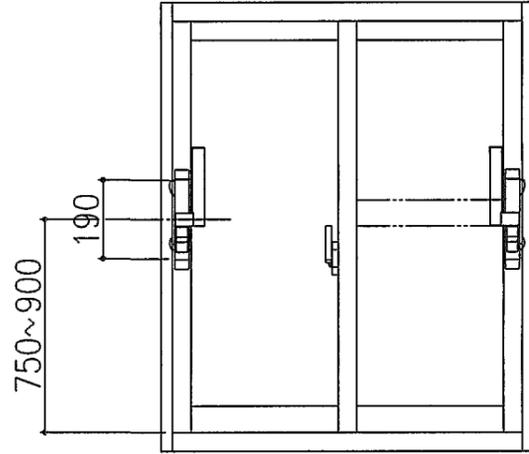
・下枠アングルより750~900mm程度の高さに取付けて下さい。

 注意 取付け孔が外側の船底引手にかからないようにして下さい。(ターンナットでは固定できません。)

 注意 内観側のみ取付けが可能です。(外側は網戸が使用できなくなります。)

 注意 キックハンドルを座金組込みネジでビス止めする際に手廻しドライバーをご使用下さい。

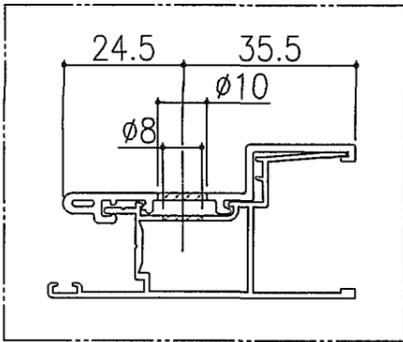
締め付けトルクの強い充電式ドライバーを使用されるとネジ持ちが空回りしネジが効かなくなる恐れがあります。



■ キックハンドルの取付け

1. 縦框にキックハンドルの取付け位置出しを行い下図を参照し

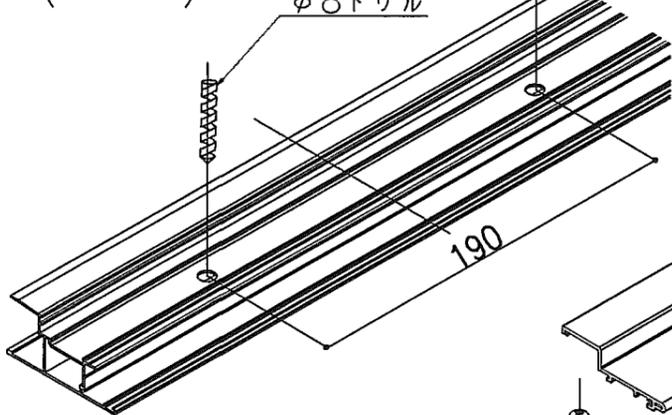
孔明け加工(ドリルφ8、φ10)を行います。【図-1】



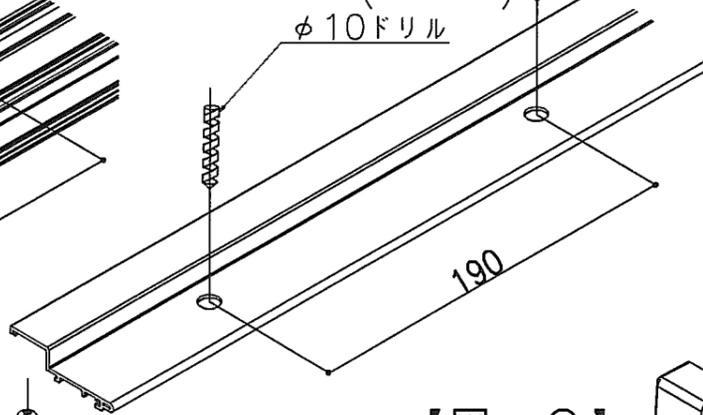
 注意 框を貫通させない様注意して孔明け加工を行って下さい。

【図-1】 図は、内障子(右縦框)を示す。

■ 縦框(アルミ側)



■ 縦框アタッチ(PVC側)



2. ターンナットを下図のように框L方向に平行に少し回転させながら加工孔へ差し込みます。

3. 引手Spacerを所定の位置に設置します。【図-2】

方向性がありますので向きに注意して下さい。

4. Spacer取付けビスで台座Bracketを取付けます。

取付けビスを一旦逆転(1~2回)させ

→正転しネジ込みます。

5. 台座SpacerをBracketに嵌め込みます。【図-3】

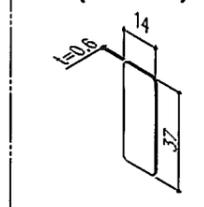
6. 座金組込みネジでキックハンドルを取付けます。

7. ビスカバーを上方向より差し込みます。

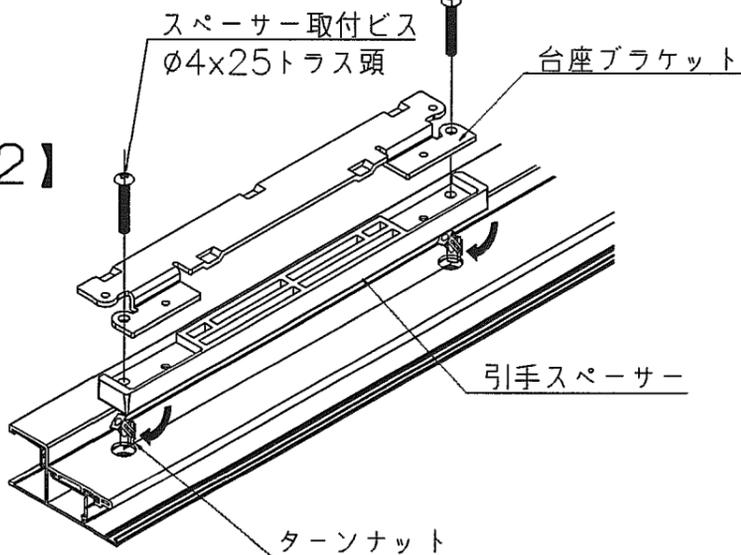
8. 受け(プレート)をキックハンドルの蹴り出し部に合わせ貼付けて下さい。



受け(プレート)

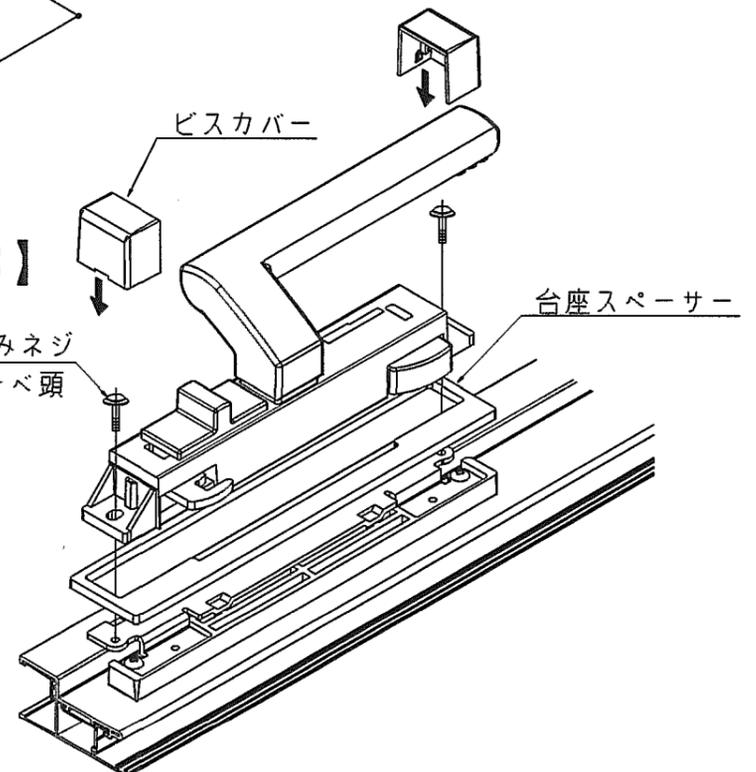


【図-2】



【図-3】

座金組込みネジ
φ4x10ナベ頭



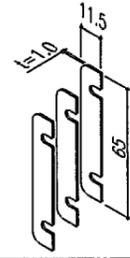
『アルプラス』バリアフリーサッシ キックハンドル 組立取付説明書

説明書番号 MN-1466
裏

■ ストライクの取付け

- お願い ストライクはキックハンドルを取付けた後に行ってください。
- お願い 額縁にしゃくりが無い場合は、同梱のストライクスペーサーにて高さ調整を行ってください。
- お願い ストライクを取付ける際に下孔加工(ドリルφ3.5)が必要です。

ストライクスペーサー

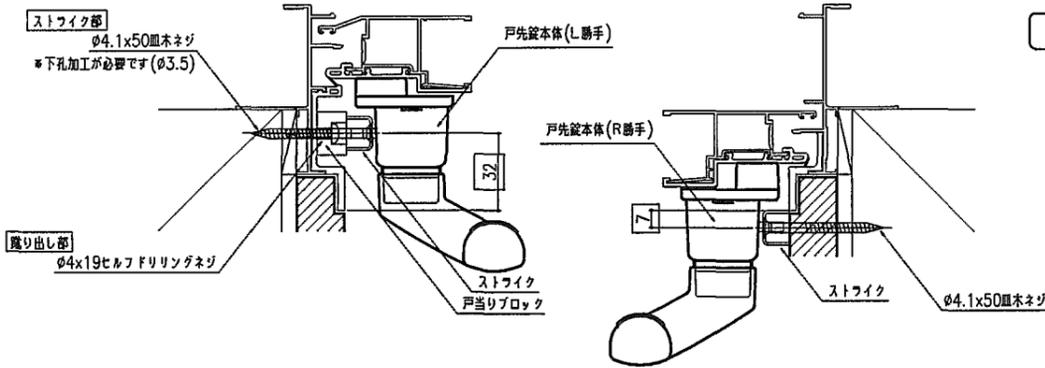


1. 戸先錠に合わせて縦枠にストライク取付け位置出しを行います。

下図を参照し孔明け加工及びビス止めを行ってください。

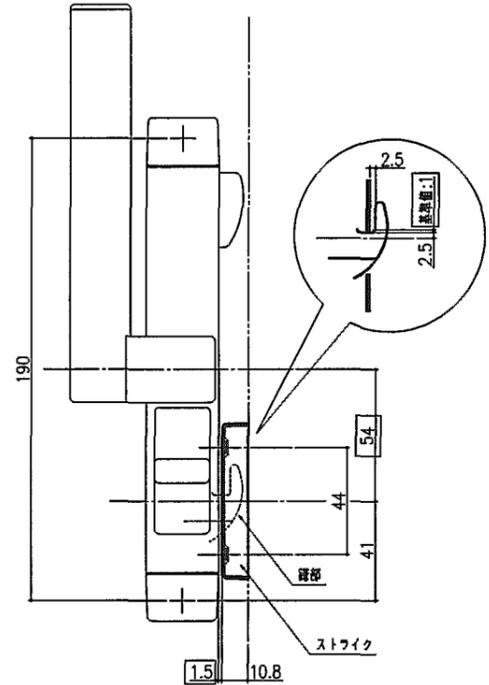
[外障子側]

[内障子側]



■ ストライクの取付け高さについて(内、外共通)

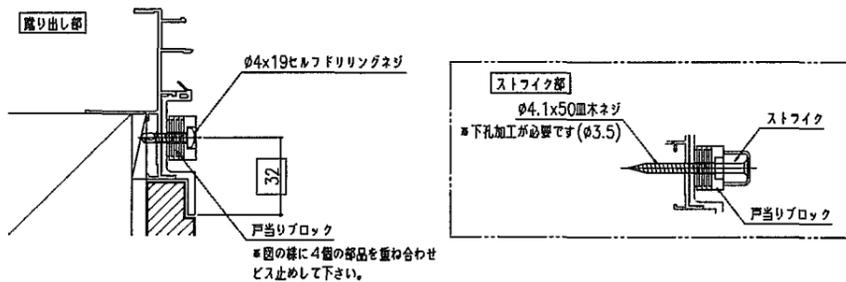
- お願い ストライクを取付ける前に錠の作動を確認し、位置出しを行ってください。
- ストライクの高さ位置は、下図を参考に取付けて下さい。
- 錠とストライクとのクリアランスは1mmとします。



■ 戸当りブロックの取付け

ストライクの高さは現物確認の上、位置出しを行ってください。

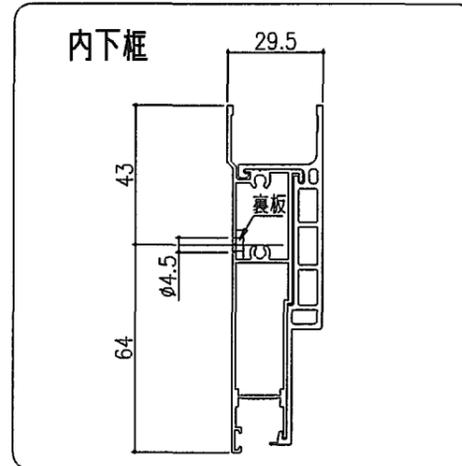
[外障子側]



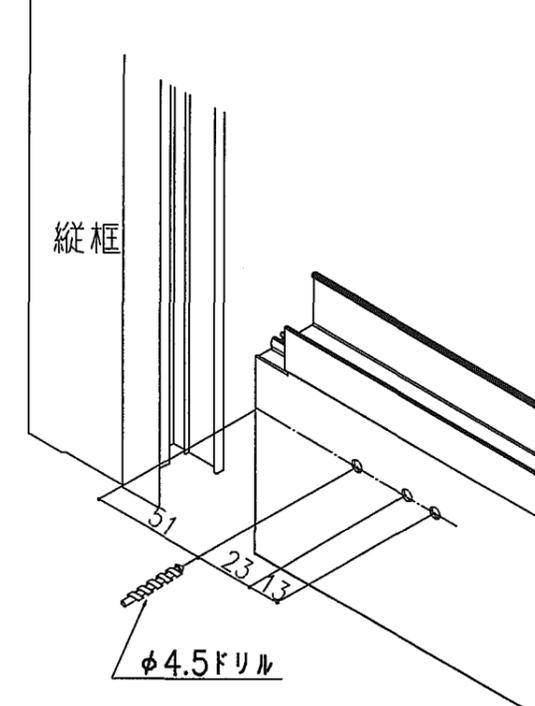
■ 下框ストッパーの取付け

- お願い 下框ストッパーの取付けは障子を組む前に行ってください。
- お願い 下框ストッパーは内障子の下框に取付けて下さい。(外観側)

■ 下框ストッパー取付け加工孔位置

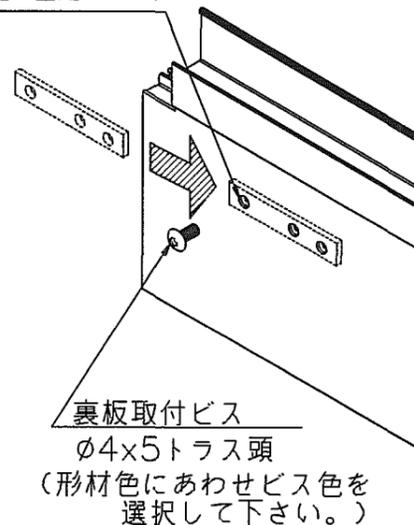


1. 下框に上右図および下図の位置を参考にφ4.5の孔を3箇所加工します。

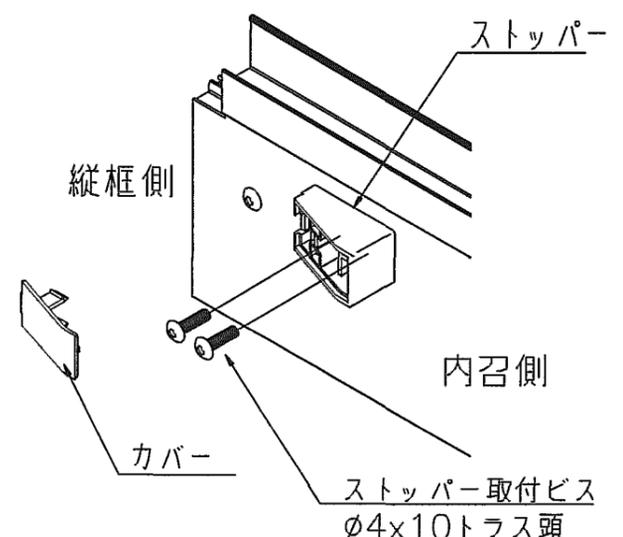


2. 下框に裏板を下図の方向から挿入し加工孔にあわせて捨てビスで固定します。

この孔で固定します。



3. 下框にストッパーを取付けた後、カバーを差し込みます。(方向性がありますので向きに注意して下さい。)



注意 框を貫通させない様注意して孔明け加工を行ってください。

裏板取付ビス
φ4×5トラス頭
(形材色にあわせビス色を選択して下さい。)

ストッパー取付ビス
φ4×10トラス頭